

特集 元気に出会う!

自然治癒力を呼び覚ます、
森の生活。

azbil FIELD | MITSUI ELASTOMERS SINGAPORE
新日本製鐵株式会社 名古屋製鐵所

azbil MIND | 真摯なサービス品質追求の取組みをベースに
加速する超高齢社会での貢献を目指す



Thích đi du lịch

福田俊作さん

1946年大阪府柏原市生まれ。早稲田大学在学中に自転車世界一周をする。大学卒業後、数年間にわたるインド滞在を経て、長野県生坂村に移住。鍼灸の資格を取得後、大町市に鍼灸の治療院を開業。1986年、旧穂高町に「穂高養生園」を開設。2010年、信州大学大学院医科学修士課程修了。



穂高養生園代表 福田俊作さん

森の生活。自然治癒力を呼び覚ます、を

こんなにのんびり散歩したのは久しぶり!

思わず時間を忘れてしまいます。

元気に
出よう!

今月の Key Word

自然治癒力

長野県安曇野市の山間。緑豊かな自然林の中に広がる「穂高養生園」。
「ホリスティックリトリート」と冠した宿泊施設だ。
「ホリスティックとは『全体』や『バランス』などを包括する言葉。
リトリートとは日常生活を離れて自分を見つめ直すといった意味がある。
人間が本来持っている自然治癒力を再認識するための施設である。



DATA



ほたかようじょうえん
穂高養生園

長野県安曇野市穂高有明7258・20
TEL : 0263-83-5260

URL <http://www.yojoen.com/>
1泊2食付き10,000円(ヨガと散歩のデイリープログラムを含む)。4月～11月下旬ごろまで営業。

お風呂は温泉です



隠れた名湯として知られる中房（なかぶさ）温泉から引湯した温泉を楽しむ。効能は慢性皮膚病や慢性婦人病、糖尿病など。



消灯 22:00

食後、消灯まではホールで歓談したり、自室で読書など。ピアノの演奏会などのイベントが開かれることもある。写真は「里の家」の一室。

ごはんは私たちが作っています。



夕ごはん 17:30

メインは「根菜やおからを使ったミートローフ風」。蒸して梅酢を加えた人参のソースがたっぷり。オープンで焼いたアスパラ、蓮根、ネギの天ぷらを添えて。副菜は二品。「こごみとかめのサラダ」。梅で酸味をつけたカシューナッツ入り豆腐ソースでいただく。もう一品は「大根とエリンギ、スナップえんどうの煮物」。添えた玉ねぎ味噌あんが甘みとコクを深める。汁ものは「菜の花と白きくらげのスープ」。ご飯は酵素玄米。



朝ごはん 10:30

主食は「竹の子ご飯」。庭で取れた三つ葉をちらしている。メインは「グルテンボール入り根菜の煮物」。副菜は「季節の山菜（ふきのとう、こごみ、うどの芽）」と「蕨のゆず風味の白和え」。白和えには香ばしい松の実が入り、味と食感のアクセントに。汁ものは「蓮根おろしの味噌汁」。具は長ネギとスナップえんどう。

穂高養生園の1日

多くのゲストが連泊するという穂高養生園。その1日を見てみよう。



ヨーガor散歩 8:00

朝ごはんまでの時間はゆったり。デイリープログラムに参加しよう。周辺の森の散歩がヨーガが日替わりで実施される。



いろいろな草花や生き物に出会えます。



自由に過ごす 11:00

朝ごはんから夕ごはんまでは、広い園内を散歩してみよう。

① メインの宿泊棟「里の家」から15分ほど歩くと「木と人カフェ」に到着。木々を眺めながらお茶を楽しむ。

② 「森キッチン」では、大きな薪ストーブのかまどを利用している。緑に囲まれての食事は格別。

③ 「木と人ホール」は様々なワークショップを開催するスペース。音響がよく、音楽ライブにも最適。



森の中に静かにたたずむ 心身ケアのための宿泊施設

北アルプス・燕岳（つばきだけ）の登山口へと続く一本道の途中、ナラやクリ、アカマツなどからなる自然林の中に「穂高養生園」はある。ここは、森の中で玄米菜食や温泉を楽しむながら、ゆったりと心と体のケアをする宿泊施設。宿泊客（ゲストと呼ばれる）の多くはその後リピーターとなり、土日は早くから予約でいっぱいになる人気施設だ。

ホリスティックや玄米菜食といった言葉に抵抗感を持つ人は多いかもしれない。しかし、園の代表を務める福田俊作さんの話を聞くと、そのような先入観は払拭（はら）される。「日常生活のマイナス要因をプラスに転化させることで、人間にもともと備わっている、自分を癒やし、治す力を引き出すことができる」と考えています。マイナス要因は3つあります。1つ目は食事の過不足。ほとんどの場合は食べ過ぎです。2つ目は運動不足。3つ目は多忙です。これに対し、体にやさしい食事、適度な運動、リラックスティという3つのアプローチで、自分自身をケアする時間を過ごしていただくことを、この施設は目的

ゆったり流れる時間と 大地の恵みを味わう食事

ゲストの多くは連泊をする。3〜4泊する一人客も珍しくない。また、療養を目的として1週間単位で滞在するケースも多いという。園内や近隣に観光地やアトラクションがあるわけではない。そこには草木が生い茂る森と清冽な水が流れる川があるだけだ。では、どのように過ごす人が多いのだろう。

朝食は10時半と遅く、ブランチという感覚。その朝食の前には、運動とリラクゼーションの二環として、ヨーガと散歩のプログラムが日替わりで行われ、ほとんどのゲストはプログラムに参加する。ヨーガは未経験者でもできるメニューが1時間ほど。散歩は1時間から1時間半ほどかけた森の中の散策だ。

窓辺につり下げられた木の板をたたく小気味よい音が響くと、食事の時間。園内や近くにある菜園で育てた無農薬野菜をはじめ、山から採ってきた山菜、新鮮な地野菜など、旬の食材をふんだんに使った一汁三菜の献立だ。素材1つ1つの味を大切にしているた



福田さんの魅力的な話に耳を傾け、穂高の夜は更けていく。

にしているのです」と福田さん。なるほど、園内で思い思いに過ごすゲストの姿を見ると、穏やかでゆったりとした独特の時間が流れているように感じられる。豪華なリゾートホテルで特別な時間を過ごすのとも、また違った雰囲気がある。いかなれば、しばし森の住民となつて、森の生活を味わう——そんな時間を過ごしているように感じられる。

「3つのアプローチと言いましたが、本来は自然の中で生きていたら、どれも当たり前のことなんです。現代社会では、その当たり前のことに気付く機会にもなかなか恵まれません。ですから、日常生活を離れ、こつた自然豊かな環境で自分自身を見つめ直し、人間本来のあるべき姿を確認することは、大きな意味を持っていると思います。」

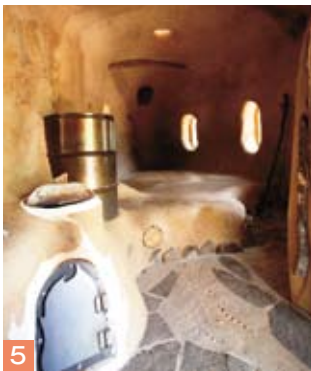
め、野菜がこんなに甘いのか、こんなに力強い香りがするとは、と素直に驚く。食後は自分の食器を自分で洗う決まりだが、洗剤を使わなくてもきれいになることから、油分が少なくヘルシーな料理だったことが分かる。

「動物性の食べ物がすべて悪いわけではありません。強い体をつくるためには、むしろ動物性タンパク質を適度に摂った方がいいでしょう。しかし、現代はどうしても動物性脂肪などが多い偏った食事になりがち。そんな普段の食生活を見直してもらうために、マクロビオティックをベースとした玄米菜食にしています」と福田さんは話す。

夕飯は5時半。それまでは、さらに山を登ったところに広がる原生林での散策、カフェでのひととき、温泉……とリラックスタイムを過ごす。鍼灸の施術やアロマセラピーを受けることもできる。1日2食ではおながもたない心配する声もあるが、多くのゲストは次の食事をほどこい空腹感で迎える。食物繊維が豊富で栄養に過不足がないことの表れだろう。心身が満たされて就く眠り、迎える森の朝はなんとも心地よいものだ。



- 1「里の家」の中庭にせり出したウッドデッキ。ここで読書するのも気持ちいい。
- 2 材料にはできるだけ地元産の木を使った、ユニークな造りの「木と人カフェ」。
- 3 敷地の最も奥にある宿泊棟「森の家」は福田さんとスタッフが2人で約2年をかけてセルフビルドした。
- 4 昨年完成したアースバッグの家。土嚢(どのう)を積み上げ、土を塗り固めた原始的な工法の建物。
- 5 アースバッグの家ではベチカ(ロシア式暖炉)で沸かすお茶も楽しみ。



「治す」とは何か？ 直面した根本的な疑問

体だけではなく、心、そして環境までも含めた全体的な視点で健康を見つめるホリスティックな施設は全国に増えつつあるが、いち早くそのコンセプトを掲げた穂高養生園は特異な存在だ。それは、福田さんの波乱に満ちた経歴、そして精力的なフィールドワークに裏打ちされたものだといえる。

「とにかく世界を見てみたかった」と、福田さんは1967年、大学3年のときに1年間休学して世界一周自転車旅行を敢行した。資金は50万円。船賃を除くと旅費はわずか1日1ドルだ。その旅の終盤で訪れたインドで、それまでの価値観を覆されるような強烈なインパクトを受けたことから、復学後は東南アジア経済を専門にした。卒業後はインドのダラムサラへ渡り、チベット独立運動の盛んな地域で空手を教えながら過ごす。さらにチベット仏教について学び、1973年に帰国した。帰りに、経由したベトナムは、折しもサイゴンが陥落したときだったという。

「子供ができたこともあり帰国を

福田さんはとても64歳とは思えない若々しさ。



決意。当時は仏教に没頭してしまっていて、比叡山での百日回峰行(ひえいさんでのひゃくにちかいほうぎょう)をしながら出家をしようか迷っていた。結果、別の道で子供を育てていこうと決断し、大阪にある鍼灸の学校に入学しました」

鍼灸師となった福田さんは、長野県生坂村(いづみかきむら)で使われなくなった郵便局を購入し、手直しして住み始めた。雪化粧した山が間近にそびえ、森と川に彩られた長野の山間部は、福田さんが愛するチベットにも似た理想的な環境だった。

自宅ではヤギやニトリ、ミツバチを飼う自給自足的な生活を送りながら、隣町に開業した治療院

世界で見た経験を生かし 理想的な施設をつくる

福田さんは数多くの治療プログラムに自身も参加してみた。「国内のあるところでは、1日1回の食事療法と1日10kmのランニングをひたすら続ける。これは実際に難しい病気が治る例も多く見ました。ただ、走れない人は参加できないという欠点がありました。また、当時は心のポジティブな動きが病変に作用をもたらすと考え

られ始めた時期で、笑いを取り入れた海外の事例も見ました」

このような独自の研究の末にたどり着いたのが、先述の「食事」運動「リラックス」からなる3つのアプローチ。その実践の拠点としてつくられたのが穂高養生園なのだ。

欧米で効果を挙げている多くの施設は建物をはじめ、庭や農園がきれいだっただけに倣い、ハード面の環境整備にも力を入れているのも特徴だ。福田さんは健康相談の時間以外のほとんどの時間を大工や土木の作業に費やし、施設の充

実を図っている。広大な森の中に宿泊棟やカフェなどが点在する穂高養生園は1つの小さな村のような趣だ。

「自然とどう向き合つかが、健康的な暮らしの力ぎだと思っています。自然の中で自分が置かれている状況を客観的に見て、治したい、こう生きたいと考えることが大切。病気になることから病院に行く、では繰り返すようになってしまふ。1人ひとりが自然治癒力で自分の健康を守っていく。それが目指すべき理想的な医療だと思っています」

会社でもできる！お手軽ヨーガ

肩コリ腰痛に

- 1 右手をゆっくりと上げ、耳の横にびったりとつけて垂直に。
- 2 上げた右手の肘をゆっくりと曲げて、手のひらを左の肩甲骨のあたりへ。
- 3 下ろしていた左手をゆっくりと右手に近づけていくように。できれば手を組んで深呼吸。
- 4 右手をゆっくりと戻して垂直の位置へ。次に左手もゆっくりと戻す。
- 5 静かに息を吐きながら右手を下に戻す。左側も同様に繰り返す。

眼精疲労に

- 1 背筋を伸ばし静かに呼吸しながら、下げた右手を水平、垂直にゆっくりと上げていく。
- 2 上げた右手の肘をゆっくりと曲げ、手のひらで左側頭部を支える。
- 3 右手で頭を支えながら、首を右側に倒していく。倒れたところで静かに呼吸。
- 4 右手と首を静かに戻し、右手をまた垂直に上げ、静かに下ろしていく。
- 5 ゆっくりと息を吐きながら、右手を水平、そしてさらに下ろす。左側も同様に繰り返す。

MITSUI ELASTOMERS SINGAPORE



生産能力倍増を目標にプラントを拡張 さらなる生産効率の向上と安定操業を目指す

MITSUI ELASTOMERS SINGAPOREでは、急速な需要拡大に対応するため、生産能力の倍増を目指してプラントの新設に踏み切りました。生産を支える制御システムの構築に際しては、既存プラントにおける経験を踏まえたプロセスの改善などにも積極的に取り組み、生産工程におけるさらなる効率向上を実現しています。

生産能力の倍増を目指す 新プラント建設を決断

石油精製の分野で世界をリードする、シンガポールの石油化学産業の集積地として知られるシュロン島。約32平方キロメートルの島内には、一大石油化学コンビナートが展開され、関連分野の世界的プレーヤー企業の工場が、日々石油の精製や石油化学工業用品の生産を行っています。同島にあって、2003年4月以来、タフマー※を中心としたエラストマー製品の生産工場を操業しているのがMITSUI ELASTOMERS SINGAPORE PTE LTD (MELS)です。タフマーは、軽量で柔軟性を特長とする樹脂です。ポリエチレンやポリプロピレンなどの樹脂にブレンドすることで耐衝撃性などが改善され、自動車のバンパーほか、包装材料や電線被覆材、スポーツシューズのミッドソールなど、様々な用途に用いられています。

2007年7月、MELSは近年の特にアジア地域における急速な需要拡大を受け、生産能力の倍増を目指して生産設備の増強を決定。従来の第1プラントに加え、新たに第2プラントを新設することになりました。それに際して同社では、



第1プラント、第2プラントを集中監視する
中央制御室に設置されたHarmonas-DEO。

山武の現地法人であるアズビルシンガポール(ASG)をパートナーに迎え、プラントの生産工程を支えるDCS※1に山武製の監視制御システムHarmonas-DEO™と関連制御機器を採用しました。

「山武のDCS製品については、第1プラントでも採用しており、その実績に裏付けられた大きな信頼感がありました。また、これまでのオペレータのスキルをそのまま活かせるという意味でも、ASGおよび山武製品の採用は極めて自然な成り行きだったと思います」(大堀氏)

さらなる機能性を追求し 2つのシステムをリニューアル

MELSでは、第2プラントの建設を機に、これまで第1プラントで稼働していたPlant Information System (PIS)、およびモデリングシステムのリニューアルにも着手。PISとは、生産する各銘柄のレシピ情報を管理し、生産時にその情報をDCSに伝えて、圧力や温度



事務所に設置されたTSS (Thin client Supervisory Server) サーバー / クライアントのクライアント端末。MELSでは、TSSの導入により、中央制御室以外からも随時、Harmonas-DEOの監視・制御画面の確認、操作が行える。

して生産を行い、その生産物をラボに持ち込んで、その粘度などの物性値が当該銘柄の許容範囲にあるかどうかを検証するというプロセスを踏みます。つまり、物性値が次に生産する銘柄の要件を満たしているかどうかは、実際に生産してみた後でないとは分からないわけです。

これに対し同社では、あるモデリングツール製品をベースに設備内の様々な情報を収集、分析して、実際に生産した後ではなく、生産しながら生産物の物性値を推定するための仕組みを構築してきましたが、運用を重ねていくうちに「リストや今後のシステムの継続性、バック上の課題が浮上していました。そうした課題の解消に向け、既存ツールを山武の提供するデータマイニングツールdataFOREST™に置き換えることにしました。

「生産物の物性値を実際に調べなくても、その推定を正確に行うことができれば、生産対象の銘柄の切り替

えに要する時間を大幅に短縮することができ、ひいてはプラント全体の生産性向上にも大きく寄与することになります。dataFORESTの仮想センサ技術は、まさにそうした我々のニーズを最適な形で満たしてくれるツールだと考えました」(WASUNTARAWAT氏)

安定操業と品質確保に向け 生産プロセスの改善をさらに推進

今回のプロジェクトについては、全面的に山武が構築を請け負ったPISを除いて、すべて第1プラント同様、ソフトウェアやハードウェア機器を山武が提供し、生産のニーズに合わせたエンジニアリングやプログラミングの作業をMELS自身が実施するという体制が取られました。「そうした形で我々自身が容易にエンジニアリングに取り組めるという点も山武製品を利用する上での大きなメリットです」(リー氏)

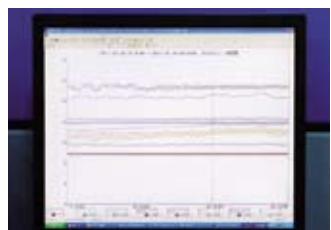
MELSの第2プラントは、2010

年3月に稼働を開始。DCSやPISといったシステムの安定稼働により、同社ではプラントの生産能力を倍増するという所期の目標を達成することができました。

「第2プラントでは、第1プラントでの経験を活かし、自動化のためのシーケンスなども改善してDCSに実装しています。その成果もあって、第1プラントの立ち上げ時に要した日本からの支援スタッフの数が9人だったのに対し、第2プラントではそれが2人。あとは現地の担当者だけで賄うことができました」(大堀氏)

「稼働後の操業についても、第1プラント同様、24時間365日、連続稼働を要求されるシビアな現場です。仮にシステム上のトラブルが発生した際にも、ASGに連絡すれば速やかに担当者が駆けつけ、最短時間で解決してくれるので、サポート面でも大きな安心を感じています」(KUAH氏)

MELSでは、今後も今回導入した一連のシステムをさらに使っ



事務所に設置されたPREXIONのクライアント画面。ここでは、生産設備の稼働状況にかかわる履歴やトレンドの閲覧が行え、トラブル発生時の原因解析にも役立てられている。MELSでは、第1プラント構築時にPREXIONを導入し、第2プラントにもこのツールを適用。プロセス改善に活用している。

用語解説

※1:DCS (Distributed Control System) 分散制御システム。プラント・工場の製造プロセスや生産設備などを監視制御するための専用システム。構成する各機器がネットワーク上で機能を分散して持つことで、負荷の分散化が図れ、安全でメンテナンス性に優れている。

※2:MES (Manufacturing Execution System) 製造業における受注から製品の製造、出荷に至る生産活動のトータル最適化を支援するシステム。製造状況の把握や実績の記録のほか、作業の手順の標準化といった局面でも役立てられ、現場作業の効率化や品質向上に貢献する。

MITSUI ELASTOMERS SINGAPORE PTE LTD



工場所在地: 701 Ayer Merbau Road
Singapore 627853
設立: 2001年2月7日
生産内容: エラストマー製品の製造・販売



取締役
プラント部門
ゼネラルマネージャー
大堀 良治氏



エンジニアリング部門
マネージャー
LI Shi Wei氏



生産部門
マネージャー
KUAH Hsian Yang氏



プラント部門
シニアエンジニア
WASUNTARAWAT Parinda氏

新日本製鐵株式会社 名古屋製鐵所



(新日本製鐵株式会社 名古屋製鐵所 提供)

高品質な製品の生産を支える設備の新設で 拡大する需要に応える増産体制を整備

中部圏唯一の鉄の総合基地として、同エリアの産業を支える鉄製品を提供する新日本製鐵 名古屋製鐵所では、RH真空脱ガス設備を増設。同設備の操業にかかわる監視・制御を行うシステムの構築および各種フィールド機器の導入により、供給する製品における高度な品質を担保するとともに、需要拡大に応え得る増産体制を整備しました。

鉄製品への需要が高まる中 設備増強による増産を目指す

自動車やビル、橋梁、船舶から、家電製品、飲料製品の缶などの幅広い分野で用いられる素材である鉄。新日本製鐵株式会社は、あらゆる産業活動や社会基盤の整備に欠かせない各種鉄製品をグローバルな市場に供給しています。その基幹生産拠点として、中部圏において操業を続けているのが名古屋製鐵所です。中部エリアの鉄鋼・貫製鉄所として知られ、高度な製造技術と製品開発力によって生み出される薄板、厚板、鋼管、鋳物用鉄鉄などの製品は、同エリアの自動車産業を中心とする需要の大きな産業に供給されており、顧客の鉄に対する多様なニーズを満たすとともに、我々の日常生活を支えています。

名古屋製鐵所では、2007年5月に製鋼工程の中の二次精錬設備であるRH（Runstah-Ingasee）真空脱ガス設備を増設しました。二次精錬設備は、転炉で粗調整された溶鋼内に含まれる成分の最終調整を行うという役割を担っています。特にRH真空脱ガス設備においては、生産する製品に応じて鋼中の不純物元素（高い成形性が要求される薄板材では炭



RH真空脱ガス設備の操作室に設置されたHarmonas。真空脱ガスの作業を密着しに見ながら、Harmonasでも制御状況を確認する。

素、靱性が要求される厚板材では水素）を除去することが求められます。処理精度は、生産物の品質を左右する大きな決定要因となるもので、そうした意味からもこの設備の果たす役割は非常に重要です。

「今回のRH真空脱ガス設備の増設に向けた検討を開始したのが2005年ごろのこと。当時は、新興国が急速な経済発展を遂げる中で、自動車産業をはじめとする分野において世界的な好景気が続いており、鉄製品に対するニーズも急速に増大している状況でした。そこで当製鐵所としても、そうした拡大するニーズに応えるべく、新たな設備を用意して増産体制を整えることが求められていました」（渡辺氏）

二重化／三重化の冗長構成で 万二に備えた信頼性を確保

RH真空脱ガス設備は、取鍋に入った溶鋼に真空槽をかぶせ、アルゴンガスを吹き込むことによ

いて、本来であれば定修を待つて対応しなければならないようなトラブルがあつた際にも、山武からの申し出によって、夜中の修理対応をしてもらったケースもありました」（長谷川氏）

熟練担当者のノウハウ継承が 作業精度、品質向上のカギ

今後に向けて名古屋製鐵所では、グローバル規模で競争が激化する鉄鋼業界において、製品の品質こそが生き残りのカギを握るものと捉えています。そうした中で、RH真空脱ガスのプロセスにおける作業精度もさらに上げていきたいと考えています。

「Harmonasには異常時に発生するイベントに応じて、オペレータに対処方法を示すオンラインマニュアルの機能も用意されています。今後は、そうしたものも活用して、熟練担当者のノウハウを若手に継承していくことも、作業精度向上の意味



差圧／圧力発信器 DSTJ™3000で真空度を計測する。



アルゴンと窒素の切替えを行うトップガイド形単座調節弁 CV3000 Alphaplus™。

て、溶鋼を上昇させ、そこで脱ガスした溶鋼が再び取鍋に戻るという循環状態を維持しながら、溶鋼全体を徐々に脱ガスする仕組みとなつています。そうした処理を行うには、真空槽内の圧力や温度などの細かな監視と制御が不可欠です。これに対し名古屋製鐵所では、監視制御を担う計装システムの整備を山武に依頼。協調オートメーション・システムHarmonas™を中心にその仕組みを構築することにしました。

「山武に対しては、既に亜鉛メッキ工程においてもHarmonasを核と

した監視制御システムを採用していた経緯があり、実績に基づく大きな安心感がありました。また、既設のRH真空脱ガス設備において課題となつた計装システムと電気コントローラとの冗長化による接続といった部分についても、山武は確立された技術を持っており、そうした点も今回の採用に当たって高く評価したポイントです」（小笠原氏）

同製鐵所が山武の採用を決定したのが2005年11月。その後、新規RH真空脱ガス設備の工事と並行して、計装システムの構築作業が

用語解説

***1:鉄鋼一貫製鐵所**
製鉄・製鋼・圧延の3段階を一貫して行える製鐵所。製鐵工程における各種熱源の効率利用や運搬の合理化、統一的な管理による品質向上やコスト削減などのメリットが得られる。

***2:定修**
各種生産施設やプラントで定期的に行われる大規模な点検・修理作業。定期修理。

新日本製鐵株式会社 名古屋製鐵所



所在地：愛知県東海市東海町5-3
設立：1958年9月
事業内容：薄板、厚板、鋼管、鋳物用鉄鋼など鉄鋼製品および機能製品の開発・製造



製鋼工場
転炉課
マネジャー
渡辺 祐氏



設備部
制御技術グループ
マネジャー
小笠原 達氏



設備部
電気計装整備課
鉄鋼エネルギー計装
設備係
班長
新美 義弘氏



設備部
製鋼設備課
連鋳電気設備係
班長
長谷川 伴樹氏



RH真空脱ガス設備。
(新日本製鐵株式会社 名古屋製鐵所 提供)

真摯なサービス品質追求の取組みをベースに 加速する超高齢社会での貢献を目指す

azbilグループのライフオートメーション(LA)事業において介護・健康支援といったライフアシストの分野を担う山武ケアネット。少子高齢化の加速を背景に社会的要請の高まりを受け、介護サービスを行う人的サービスの品質向上や全国で緊急通報サービスを展開する安全センターとの連携による仕組みづくりをはじめ、ものづくりを通じて培ってきた技術力を活かした独自性の高い高齢者向けの各種介護関連サービスを展開しています。

少子高齢化の加速を背景に高まる
ライフアシスト分野への要請

azbilグループでは、建物分野のビルディングオートメーション(BA)事業、工業分野のアドバンスオートメーション(AA)事業と並んで、「人々のいきいきとした暮らし」に直接貢献する新たな分野としてライフオートメーション(LA)事業に対して積極的な事業展開を行っています。

LA事業では、これまでBAやAAの事業において長年にわたって培ってきた計測・制御技術やサービスのノウハウを、ガス・水道といったライフラインおよび介護・健康支援といったライフアシストの分野に展開することで、人々の安全・安心かつ快適な社会生活に貢献していくことを目指しています。

中でも、ライフアシストに関しては、近年、我が国で急速に進行する少子高齢化を背景に、社会的な要請がますます高まってきています。これに対し、一人暮らしの高齢者などの安全をサポートする緊急通報サービスを中核とした事業を全国ネットで展開する安全センターとともに、azbilグループにおけるライフアシスト

分野の事業を支えているのが、高齢者向けの各種介護関連サービスを提供している山武ケアネット(YCN)です。

在宅(居宅および訪問)・施設・福祉用具サービスの3つの柱で事業を展開

超高齢社会を迎え、ますます多様化する介護ニーズ。YCNでは、これらのニーズに柔軟に対応するサービスの提供を念頭に、大きく3つの柱で事業を展開しています(65歳以上の人が総人口に占める割合を高齢化率という。高齢化率7%で「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」となる。2010年、日本の高齢化率は22・5%)。

その1つ目の柱となるのが「在宅サービス」です。この領域では、居宅介護支援、訪問介護サービスを提供しています。まず居宅介護支援では、YCNに在籍するケアマネジャーがご利用者さまやその家族へのヒアリングを通じて、専門的な立場から自立した生活を支援するケアプランを作成します。ケアプランには、ご利用者さまへの訪問介護サービス、デイサービスなどの施設サービス、電動ベッドなどの福祉用具貸与の

計画を含みます。必要に応じて介護サービス事業者や医療・福祉機関などとの連携・調整を行います。一方の訪問介護サービスでは、ケアプランに基づいて調理や掃除、洗濯といった生活援助や入浴、食事、排せつの介助といった身体介助にかかわるサービスを提供。ご利用者さまが自分らしく意欲的に生きていくための自立支援を行っています。

2つ目の柱は「施設サービス」です。要支援・要介護のご利用者さまを対象に、健康状態のチェックや食事、入浴、レクリエーション、機能訓練などを行うデイサービス、認知症の高齢者を対象に職員とともに食事の支度や掃除な



居宅介護支援事業所「かたくり六郷」では、ケアプランの作成確認が行われる。

どを行い、家庭的で落ち着いた環境の中で共同生活を行うことで、認知症の進行を穏やかにするグループホームのサービスをそれぞれ提供しています。

電動ベッドや車いすといった福祉用具のレンタルや販売、メンテナンスなどの各種サービスを提供しています。

YCNでは、要支援・要介護の高齢者を支援するこうした3つの事業を、介護サービスセンター「かたくり」、デイサービスおよびグループホームは「かたくりの

里」、そして「かたくり福祉用具センター」といった事業所名で展開。東京、神奈川、千葉の1都2県を6つの地域に分け、事業ミックスによる拠点基盤の整備をバランスよく行うことにより、3つのサービスのシナジーを活かした新たな価値の創出と地域に根ざした密度の濃いサービスの提供を目指しています。

**人と技術の両面において
真摯に「品質」を追求**

このような事業を展開していく中で、YCNが最重要のテーマとして捉えているのがサービスの「品質」をいかに維持し、向上させていくかという点です。例えば、

「デイサービス」「かたくりの里」の多くが、1日当たりのご利用者さま数十人以下の小規模型事業所として展開していますが、その背景には事業上のスケールメリットを追求するのではなく、あくまでも小規模な家族的雰囲気の中で行き届いた高品質な介護サービスを提供したいという想いがあります。また、サービスの品質を握るケアマネジャーや訪問介護サービスでご利用者さまとヘルパー間の連絡・調整を担うサービス提供責任者、ヘルパーの人材

育成にも組織的に注力しており、教育体制の強化のほか、これら各職種の担当者が地域ブロック横断の形で情報交換を行うためのミーティングなども定例で実施し、スキルの向上に努めています。さらに、同じライフアシスト分野を担う安全センターと共同でサービス品質の向上を目指したQC*活動を継続的に推進するなど様々な取組みを行っています。

このように人的サービスの向上を目指す一方、福祉用具サービスにおいては、2009年12月に開設した「かたくり福祉用具 秦野メンテナンスセンター」でも品質追求の取組みを推進しています。同センターは、レンタルから戻ってきた福祉用具の洗浄や消毒、メンテナンス、保管、配送などを一貫体制で行う施設です。その設立運営には、azbilグループがものづくりを通じて培ってきた機器のメンテナンスにおける工程設計や技術



返却されてきた車いすなどの福祉用具を洗浄、消毒、点検し、次のご利用者さまへお届けする。

的知見が生きています。そして、制御機器業界において国内で初めてISO 9001の認証を取得した山武の品質保証推進本部の支援の下、YCNでも品質マネジメントシステムの構築・強化を図ってきました。その品質向上に向けた取組みは、2010年12月に同センターが高い品質を目指しISO 9001の認証を取得するといった結果にもつながっています。

今後、YCNでは、以上のような小規模かつ事業ミックスによる地域に根ざしたサービス展開とさらなる品質向上の取組みをベースとしながら、緊急通報サービスや健康相談などの事業を展開する安全センターとの連携もさらに強化していくことで、ライフアシストの分野における新たな価値の創造を目指していきます。



1 グループホームかたくりの里六郷。近所の八百屋さんへスタッフとともに買い物に出かける。八百屋さんで旬の食材を見つけると、それを材料に今晚のおかずはこれを作ろうとアイデアが出て献立が決まる。



2 認知症対応型デイサロンかたくりの里六郷。手先の機能訓練の1つボウリングは、集中力(ピンを倒す)・脳トレーニング(倒れたピンの数を計算する)・ストレス発散(声を出す)に役立っている。



3 デイサービスかたくりの里六郷。スタッフの合図に合わせて、みんなで輪になって声を出して体を動かす。

Present

穂高養生園の週末ごはん

特集で紹介した穂高養生園の献立集。週末2日間のデトックス献立や旬の野菜レシピをはじめ、自分で自然治癒力を高める暮らしのヒントが詰まっています。

- 主婦と生活社
- 福田俊作＋穂高養生園スタッフ 著
- 価格1,680円(税込)

本書を5名の方にプレゼントいたします。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号をご記入の上、下記宛先に8月末日までにご応募ください。厳正な抽選の上、当選者ご本人に直接当選の連絡をいたします。なお、社員並びに関係者は応募できません。



azbilグループPR誌「azbil」をご愛読いただき、ありがとうございます。

■本誌に関するお問い合わせやご意見、ご希望、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、皆さまからのお便りをお待ちしております。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号などをご記入の上、下記まで郵送、FAX、電子メールなどでお寄せください。

■ご住所などの変更に関するご連絡は、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号も併せてお知らせください。

■お問い合わせ・プレゼント応募宛先
〒100-6419
東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
株式会社 山武
azbil 編集事務局
TEL:03-6810-1006
FAX:03-5220-7274
E-mail: azbil-prbook@azbil.com

■発行日：2011年 8月 1日
■発行：PR誌 azbil 編集事務局
■発行責任者：高橋 実加子
■制作：日経BPコンサルティング

編集後記

穂高養生園は、実は私の癒やしスポットです。仕事や日々の生活に疲れてしまうとフラッとひとりで養生園へ出かけていきます。有機食材で手のかかったおいしい食事、静かだけど生命力にあふれる森に心が癒やされます。養生園には、テレビやラジオ、新聞などが一切なく、俗世間の聞きたくなくてもどんどん流れてくる情報から隔離されます。でも、それが気持ちいいんです。日ごろから「がんばり過ぎ」ているみなさんも、ふっと力を抜いて自分を大切にしてくれる時間を大切にしてください。(akubi)

ニュース

平成23年度 社団法人 日本ガス協会技術賞受賞 ～タグを用いたデマンド検針システム～

株式会社 金門製作所は、社団法人 日本ガス協会様、京葉ガス株式会社様、広島ガス株式会社様と共同開発した「タグを用いたデマンド検針システム」において、平成23年度 社団法人 日本ガス協会技術賞を受賞しました。本システムは、ガス事業者が、大口需要家とガス需要の負荷変動の平準化を目的に業務用選択約款を契約した場合に主に設置されるデマンド計を、簡便かつ効率的に検針するものです。デマンド計は「最大使用量」や「時間帯別使用量」など多数のデータを計測するため、検針作業に時間がかかり、手書きで起票することにより検針後のデータ処理に大きな負荷がかかっていました。そこで、お客さまとの接点機会を維持する現場検針のスタイルを変えないことをコンセプトに、既存のデマンド計に取付け可能なICタグとその読取り用リーダーを開発し検針データのデジタル化を図り、検針時間の短縮(従来比1/5)、事務処理の効率化、データの暗号化による個人情報保護を実現しました。



●株式会社 金門製作所 都市ガス営業部 TEL：03-5980-3732

ニュース

azbilグループ、「azbilグループ サマータイム」を7月から全国の事業所で導入 ～省エネルギー・節電の視点に加え、働き方の見直しへと発展させる～

株式会社 山武をはじめとするazbilグループでは、東日本大震災の影響による国および各電力会社からの節電要請に対する施策の一環として、日本国内にある全事業所の始業時刻・終業時刻を早める「azbilグループ サマータイム」を実施しています。azbilグループにおける今夏の電力需給逼迫(ひっばく)に伴う電力使用量削減の取組みとして、工場での効率的な生産活動をはじめ、全事業所での蛍光灯の間引き、空調の効率的な使用、パソコンや携帯電話の充電方法徹底など、全社員の協力による省エネルギー・節電対策を実施しています。このたび、さらなる総電力使用量の削減、および方々の電力使用量抑制に寄与すべく、就業時間を前倒しに設定する「azbilグループ サマータイム」を実施し、azbilグループ独自に定めた節電目標である「20%」削減の達成を確実なものいたします。

●株式会社 山武 経営企画部広報グループ TEL：03-6810-1006

＜azbilグループ サマータイムの実施概要＞

■実施期間：2011年7月1日～9月30日までの3カ月間

■勤務時間：8:00～16:45(一部の部署は、始業時刻が8:30となります)

■対象事業所：日本国内にあるazbilグループ全事業所

さらに振替休日を2日(8月11日、12日)増やし、夏季休暇を11連休とするほか、夏季の服装基準も Polo シャツ・チノパンの着用も可とする「SUPER COOL BIZ」を推進していきます。当社をはじめとするazbilグループは、今夏の電力需給逼迫に伴う電力使用量削減の目標達成に向けて活動していくと同時に、社員の働き方を見直し、ワークライフバランスを実現する職場環境づくりにも積極的に取り組んでいきます。

今月の表紙



ベトナム／ホーチミン

●MERRY メッセージ 「旅行をすること」

●撮影メモ

ベトナムの祝日に「学生の日」というものがある。建国の父、ホーチミンが「先進国と肩を並べられるかどうかは学生の皆さんにかかっている」というスピーチを1946年1月9日に行って以来、この日は国家の発展のために重要な役割を果たす学生をたたえる日。そんなホーチミンの銅像がいたるところにあり、すぐ国民から愛されていると感じた。ベトナム・ホーチミン国家大学人民社会大学では、白いアオザイを着た学生たちがMERRYにとっても共感してくれ、大変協力的。なかでも、タオちゃんは大切な学期末テストをすべてキャンセルして、全日程にわたりパーフェクトなアシスタントをしてくれた。

水谷事務所代表／MERRY PROJECT 主宰 水谷 孝次さん

ニュース

AdaptivCOOLを活用した稼働中データセンターの節電事例 ～お客さまのWebサイトに掲載～

株式会社 山武は、このたび、株式会社ブロードバンドタワー様のデータセンター設備に、山武のデータセンター向け環境ソリューション「AdaptivCOOL®」を導入し、稼働中のサーバーラームの機能を停止することなく、省エネルギーと温熱環境の維持・改善を実現しました。ブロードバンドタワー様のWebサイトに、この一連の取組みを紹介したホワイトペーパーが掲載されています。

URL：http://www.bbtower.co.jp/ir/pressrelease/88.php

データセンターは様々なお客さまのIT機器をお預かりし、長期間管理を行うため、安定した温熱環境を維持していく必要があります。そのため空調設備は常時稼働されており、省エネルギーの取組みは大変難しい状況にあります。AdaptivCOOLが製品化される前より、山武はブロードバンドタワー様と共に、データセンターの空調電力削減プロジェクトを立ち上げ、サーバーラームの温熱環境とエネルギー消費状況に関する調査や、熱気流シミュレーションを行ってきました。その結果、2010年3月に空調

機を8台停止し、床冷却ファンの設置を行いました。ブロードバンドタワー様のデータセンター安定稼働の豊富なノウハウと山武の品質の高い技術により、お客さまに迷惑をかけることなく、施工、調整ができ、稼働中のサーバーラームを止めることなく、最適な温熱環境を実現。当初の予測を上回る空調電力削減に成功しました。

AdaptivCOOL：データセンターの最適な温熱環境と省エネルギーを同時に実現するソリューション製品。既存データセンターの温熱環境を熱気流シミュレーションにて問題点を可視化し、問題箇所に床冷却ファンなどの機器を設置してサーバーからの排熱の還気や熱だまりへの冷気供給を行い解消する。

※AdaptivCOOLはDegree Controls社の商標です。

●株式会社 山武 ビルシステムカンパニー コミュニケーションマーケティング部 TEL：03-6810-1112

ニュース

JCSS校正の範囲が「計測器」から「製品」まで大幅に拡大 「お客さまの現場」でも校正ができるようになりました

株式会社 山武は、株式会社 山武瑞穂内にある山武計測標準センター 京都校正チームが、「流量・流速(液体流量計)」のJCSS(Japan Calibration Service System、計量法校正事業者登録制度)の校正事業者として新たに登録され(登録番号:0274)、液体流量計のJCSS校正の受託を開始しました。さらに、これまでもJCSS校正を提供してきた計測標準センター(登録番号:0155)の登録範囲が下記区分で拡大されました。

- ・「湿度」の区分において、露点-50℃の低露点領域まで校正範囲を拡大。
- ・「温度」(指示計器付温度計)、「湿度」(電子式湿度計)、「電気」(温度指示計器)の各区分において、JCSS現地校正で登録追加。

これにより、従来「計測器」を対象にJCSS校正を行っていましたが、電磁流量計・コリオリ質量流量計、

●株式会社 山武 経営企画部広報グループ TEL：03-6810-1006

温度調節計、露点計などの「山武製品」にもJCSS校正を行うことができるようになりました。さらに、一部の製品においては取り外して「標準室」に送り込まなくても、「お客さまの現場」でJCSS校正を提供できるようになりました。山武をはじめとしたazbil グループは、信頼性の高い校正事業を展開し、多様なニーズにお応えしていくことで、お客さまに対して、安全かつ高品質の製品・サービスを提供し続けてまいります。



これらの標準は計量法に基づく校正事業者登録制度の標準(シンボル)です。0155は株式会社 山武 計測標準センター、0274は株式会社 山武 計測標準センター 京都校正チームの登録番号です。

JCSS 登録事業者はJIS Q 17025:2005(ISO/IEC 17025:2005)を基準に登録されています。国際MRA対応の認定も受け、その証としてJCSS認定シンボル(ILAC MRA)付き校正証明書を発行することができます。

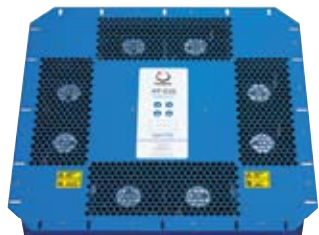
azbil Topics

製品情報

ニュース

セミナー情報

展示会情報



【azbilグループのJCSS校正事業者登録】

■登録番号：0155[恒久的施設で行う校正]

温度：定点実現装置、抵抗温度計、指示計器付温度計

湿度：露点計、電子式湿度計

圧力：重錘形圧力天びん、デジタル圧力計

電気：直流抵抗器、直流抵抗測定装置、直流電圧発生装置、直流電圧測定装置、直流電流発生装置、直流電流測定装置、温度指示計器

■登録番号：0155[現地校正]

温度：指示計器付温度計

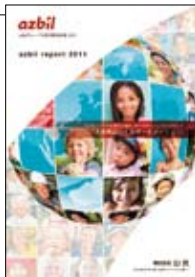
湿度：電子式湿度計 電気：温度指示計器

■登録番号：0274[恒久的施設で行う校正]

流量・流速：液体流量計

■登録番号：0134[恒久的施設で行う校正]

流量・流速：気体流量計



企業活動報告書「azbil report 2011」を発行

株式会社 山武は、2010年4月から2011年3月までのazbilグループの企業活動を包括的に報告する「azbilグループ企業活動報告書:azbil report 2011」を発行しました。

本誌では、azbilグループの事業概況や環境報告、社

会性報告、財務報告などについて、分かりやすく解説しています。

資料請求はこちらから↓

<https://www.azbil.com/jp/inq/request.html>

●株式会社 山武 経営企画部広報グループ TEL：03-6810-1006



「両神温泉薬師の湯」の展望大浴場。浴後はさらりとしているので、登山の汗を流すのにはもってこい。



埼玉県 両神温泉

霊山・両神山の麓に湧く ハイカーに人気の美人の湯

秩父多摩甲斐国立公園の一角にある標高1723mの両神山。その山頂には日本武尊が祀ったと伝えられるイザナギ・イザナミの二神が鎮座し、古くから山岳信仰の対象になってきた。

両神温泉は、そんな両神山の麓に位置する。温泉施設は国民宿舎と道の駅に併設された日帰り入浴施設の2軒のみ。国民宿舎では、お湯は100%かけ流しでぜいたくに使われている。フッ素イオン・メタほう酸泉に分類され、ほとんど無臭かつ無色。クセがなく、やわらかい印象だが、pH9.2とアルカリ性が強いので、すぐに肌がうるつるの感触になるのが特徴だ。浴後のさらっとした爽快感も心地よい典型的な美人の湯である。

日帰り可能な道の駅の湯はハイカーたちで特ににぎわう。地元のそば粉を使った手打ちそばを味わえる食堂や新鮮な地野菜をそろえる直売所も併設。美肌と美食を一挙両得できる穴場なのだ。

泉質・効能

フッ素イオン・メタほう酸泉
無色透明。においもほとんどない。サラサラとした湯ざわりで、肌はつるつるになる。効能は神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、慢性消化器病、慢性婦人病、冷え性、切り傷、やけどなど。

■写真の湯

両神温泉薬師の湯
TEL: 0494-79-1533
<http://www.town.ogano.lg.jp/>
〈アクセス〉
車／関越自動車道花園ICから国道140号線、県道37号線経由約60分。電車／西武池袋線西武秩父駅からバスで約50分、薬師の湯下車すぐ

立寄り 丸神の滝

日本の滝百選に数えられている知る人ぞ知る名瀑（めいばく）。滝は3段に分かれており、1段目12m、2段目14m、3段目50mと計76mの落差がある。バス停間約1.5kmの周遊ハイキングコースを歩いて見学するのが一般的だ。



TEL: 0494-75-1221（小鹿野町役場）



両神温泉

azbil 創業1906年 山武の進化
グループ 人を中心としたオートメーション

- 国内
- 山武 ●山武商會
 - 山武コントロールプロダクト
 - 山武フレンドリー ●山武ケアネット
 - 安全センター ●セキュリティライダー
 - 原エンジニアリング ●金門製作所
 - 山武瑞穂 ●ロイヤルコントロールズ
 - 太信 ●テムテック研究所

海外

- アズビル韓国 ●アズビル台湾 ●アズビル金門台湾
- アズビルベトナム ●アズビルインド
- アズビルタイランド ●アズビルフィリピン
- アズビルマレーシア ●アズビルシンガポール
- アズビル・ベルカ・インドネシア ●アズビル機器（大連）
- アズビル情報技術センター（大連）
- 山武環境制御技術（北京）
- アズビルコントロールソリューション（上海）
- 上海アズビル制御機器 ●アズビル香港 ●上海山武自動機器
- アズビルノースアメリカ ●バイオビザンシステムズ
- アズビルブラジル ●アズビルヨーロッパ

〈販売店〉

8 August 2011

azbil グループ PR 誌 azbil（アズビル）



本誌には、環境にやさしい大豆油インキと森林認証紙を使用しています。本誌からの無断転載・複製はご遠慮ください。